



Subaru

# 男声合唱団

ニュース No.313

'11. 07. 25



## 当面のレッスン他行事予定表

当面のレッスン他行事予定表				
7	26	火	T1 パートレッスン	1800
	29	金	○定例レッスン (とりやめ)	以降第5金曜日のレッスンとりやめ
	31	日	○定例レッスン	1400
8	2	火	T2パートレッスン	1800
	5	金	檀教室	1600 ~1730
	5	金	○定例レッスン	1800
	6	土	からほりピースフェスタ	1700 ねむか集合→妙徳寺
	9	火	BRパートレッスン	1830
	14	日	絵手紙コンサート	1330 開場 西宮プレラホール
	16	火	BSパートレッスン	1830
	19	金	○定例レッスン	1800 企画委 1600
	21	日	○定例レッスン	1400 運営委 1100
23	火	T1 パートレッスン	1800	
9	2	金	檀教室	1600 ~1730
	2	金	○定例レッスン	1800
	4	日	本並さんの古希とうた声 50 周年を祝う会	1330 開場 たかつガーデン 8F
	6	火	T2パートレッスン	1800
	13	火	BRパートレッスン	1830
	16	金	○定例レッスン	1800 企画委 1600
	18	日	大阪市内南部地域合唱発表会	阿倍野区民センター
	20	火	BSパートレッスン	1830
	25	日	奈良県高齢者大会	ならまちセンター
27	火	T1 パートレッスン	1800	
30	金	○定例レッスン (とりやめ)	※運営委の日時?	
10	1	土	長沼さんを偲ぶつどい	
	4	火	T2パートレッスン	1800
	7	金	檀教室	1600 ~1730
	7	金	○定例レッスン	1800
	11	火	BRパートレッスン	1830
	16	日	大阪地区合唱発表会	LIC 羽曳野
	18	火	BSパートレッスン	1830
	21	金	○定例レッスン	1800 企画委 1600
	25	火	T1 パートレッスン	1800
30	日	○定例レッスン	1400 運営委 1100?	
現在わかっている行事・11月以降				
11	9	水	中央区九条の会	
	18	金	~20 (日) 日うた IN千葉	
12	4	日	都島九条の会	1400
	8	木	大阪革新懇大会 (とりやめ)	

7月30日 (土)  
1300~1530  
5の土  
コスモスうたごえ喫茶  
ねむかホール

7月30日 (土)  
1630  
原発ゼロ大阪府民大会  
扇町公園

・死んだ男の残したものは  
・なぜ  
青シャツ・九条バッジ

・シルクロード  
・ねがい  
・歓びのナーダム

・歓びのナーダム

・シルクロード  
・歓びのナーダム

・シルクロード  
・ねがい ・なぜ  
・歓びのナーダム  
・地底のうた

・同志はたおれぬ  
(わが母のうた)  
・死んだ男の残したものは  
・フィンランディア

10月10日 (月・祝)  
檀美知生テノールソロ  
リサイタル  
1330 開場  
兵庫県芸術文化センター

12月11日 (日)  
ロシア民謡合唱団  
「コスモス」コンサート  
クレオ大阪中央

## 「歴史年表に○印をつけるとすれば……」

T1 山本(直) さん

日本近代史の歴史年表に○印をつけるとすれば、私であれば…①1867.11.9 大政奉還、②1945.8.15 ポツダム宣言の受諾、③2011.3.11 福島原発事故…としたい。②-①=78年、③-②=66年であり、そろそろ頃合ではなからうか？ とはいえ原発推進派はしたたかであり、③がどのように推移するかは不透明である。

愚かな私は、各地の原発に使用済みの核燃料がどさっと蓄積されているとは知らなかった。だから私は、原発の推進は慎重でなければならぬが、未来の人類のエネルギーはこれだと思っていた。

3.11以降、私は俳句がつけられなくなった。原発俳句を作ろうとするが、テーマが大きすぎて手におえない。他のテーマの俳句は作る気がしない。

Dさんに紹介されて知った「小出裕章」の大ファンになってしまった。毎朝、彼のブログで動画を見るのが日課になっている。

「天の火が一本の木を裂き、人は火を知った。  
そして ついに、人は新しい天の火をつくり、その火で自分を灼いた」  
林光の警告をしっかりと受け止め、この曲を歌いあげたい。

みなさん良くご存知でしょうが、小出裕章(こいで ひろあき、1949年生)は京都大学原子炉実験所助教(助教とは昔の言い方であれば助手)最近(3.11以降)下記の新書を出している。

『原発のウソ』扶桑社新書、2011.6.2に発売され、わずか20日間で17万部売れた。¥740。  
『原発はいらない』幻冬舎ルネッサンス新書、2011.7.17発売。¥838。

私(小出裕章)はこの40年間、原子力を廃絶したいという思いで生きてきました。…福島原発事故以降は、身体が10個ほしいとさえ思うようになりました。そんな私にとって本を書くという余裕はありません。この二冊は出版社の編集局が私の発言を再構成してくれ、それを私が若干手を加えたものです。(『原発はいらない』のあとがきより)

最近の聴きものは、堅田「九条の会」主催の2011.7.23 14:00~16:00「原爆・原発と憲法9条」<講師:小出裕章>の録画である。

<http://www.ustream.tv/recorded/16185189>の音声は悪く聞きにくい、「今日は福島原発事故の話はしない……」で始まる講演は目からうろこであった。



……録画を見ました。世界がすでにあきらめた技術である高速増殖炉「もんじゅ」、1兆円の開発費をつぎ込みながら事故続きで、まだ商業発電を1kWも出来ていない、さらに、停止中も1日の維持費が5千5百万円の巨費もかかる、将来のない炉になぜ歴代政権をあげてこだわるか。平和利用の欺瞞の衣をまといながら、核兵器の材料であるプルトニウムめぐる本当の原子力政策の狙いをくつきりと論証して、9条の砦がいかに必要かを思い知る、まさしく、目からうろこの録画でした。……編集子